

平成28年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	長浦第一放課後児童クラブ・長浦第二放課後児童クラブ				
施設所管課名	子育て支援課				
指定管理者名	有限会社 すみれ福祉会				
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年間のうち1年目）				
利用料金制	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 一部導入 <input type="checkbox"/> なし		※「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設		

1 施設の概要

施設の所在地	袖ヶ浦市久保田137番地3 袖ヶ浦市長浦駅前6丁目1番地4				
施設の設置目的	保護者の就労等より昼間保育に欠ける児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ることを目的とする。				
指定管理業務内容	（1）放課後児童健全育成事業の実施に関し必要な業務 （2）施設管理全般に関する業務 （3）施設及び設備に関する業務				

2 利用状況

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
開館日数（日）	293	293	100.0%	294	99.7%
施設利用者数（人）	20,870	15,909	76.2%	14,541	109.4%
貸室（設備）稼働率（%）	—	—	—	—	—
事業開催数	—	—	—	—	—

3 施設の経営状況

（単位：千円）

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
指定管理料	12,163	12,163	100.0%	9,862	123.3%
利用者当たり管理コスト	1.07	1.64	152.8%	1.45	112.6%
利用者当たり自治体負担コスト	0.58	0.76	131.2%	0.68	112.7%

[評価結果]

評価項目	評価基準	自己 評価	所管課 評価
I 履行の確認			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 職員配置	基準に基づき、適切な人員配置がされたか	A	A
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	A	A
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	A
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか	A	A
(2) 利用[使用]料金	利用料金の設定、利用[使用]料金の徴収・減免・還付の 手続は適切であるか	A	A
3 保守点検並びに清掃等業務等			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	B	A
(2) 清掃業務・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか	B	A
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	B	A
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	B	A
4 事業の実施に関する業務			
(1) 指定事業	基準に基づく事業が適切に行われたか	A	A
(2) 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	—	—
5 個人情報の取扱	個人情報の取扱いが適正に行われたか	B	A
I の総括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 12 本》	11本	A
* 指定管理者の自己評価	今年度より施設ごとのパンフレットを作成したことで、説明会内でも放課後児童クラブの運営内容を理解したうえで出席してもらうことができた。		
* 施設所管課の評価	計画に基づき適正な保育の提供に努めている。引き続き質のよい保育が提供できるよう安定的に運営されたい。		
II サービスの質の評価			
1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	A	A
2 維持管理業務 (清掃、備品等の維持管理)	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	A	A
3 運営業務 (貸出状況、接客対応等)	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	B	B
4 指定・自主事業(事業内容の質)	実施された事業内容は、質の高いものであったか	B	A
II の総括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 4 本》	4本	A
* 指定管理者の自己評価	宿泊学習では、人数制限があったため希望者をすべて受け入れることができなかった。次年度より受け入れ枠を増やし実施をしていく。		
* 施設所管課の評価	行事等内容が固定されることなく、常に子ども達のニーズに合うものを取り入れ運営している。定期的な運営に囚われることなく業務を遂行することには大変評価できる。		

総合評価		I・II を合わせた総合評価	自己評価	所管課評価
			A	A
総合評価に係る 総括意見	指定管理者	利用者の増加により、各事業の体制を検討していかなければならない。次年度も利用者拡大の継続と、利用者増加に対する事業の質が落ちることがないように取り組んでいく。		
	施設所管課	常により良い保育を提供することに心がけており、利用者との関係性も良く円滑な運営が出来ている。第2の家庭とし、子ども達が伸び伸びと安全安心に過ごせる場所を提供できるよう努めていただきたい。		
その他特記事項 (成果・改善等)	指定管理者	長浦第一放課後児童クラブは、駐車スペースと利用者の遊び場が同じスペースとなっており、保護者のお迎えの際に危険が伴っている。指導員がお迎えの際には、安全に気を付けていくが、スペースの区分を検討していきたい。		
	施設所管課	長浦第一放課後児童クラブは、駐車場兼遊び場となっている。しかしながら、長浦小学校グラウンドを活用し放課後等を過ごすなど、運営方法に工夫を凝らし円滑な運営に努めている。現在円滑な運営が出来ている中、駐車スペースの移転または拡大が必要か否か継続して検討していく。		

《評価区分》

①評価基準	A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある D (要改善) = 協定書等の基準が遵守しておらず、改善の必要な内容である
②総括	A (優良) = 評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である B (良好) = 評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である C (課題含) = 評価基準がすべてC以上である D (要改善) = 評価基準にDが含まれている
③総合評価	A (優良) = 総括がすべてB以上であり、かつAが1つ以上である B (良好) = 総括がすべてB以上である C (課題含) = 総括がすべてC以上である D (要改善) = 評価基準にDが含まれている